

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
954	校区再編計画推進経費	会計	01	一般会計	
31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費	
		項	01	教育総務費	
		目	02	事務局費	
		細目	101	一般管理経費	
		細々目	05	校区再編計画推進経費	
担当部課名	教育部教育総務課				
作成者氏名	塚脇 逸子	連絡先	22-9675		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	校区再編未実施地区の児童・生徒	適正な学校規模になり、「一人ひとりがたくましく心豊かに成長する」望ましい教育環境が整う。		
本年度事業内容	校区再編未実施である伊賀、阿山地区の校区再編検討委員会開催、新中学校区内の各地区代表による検討協議会開催、校区再編実施計画印刷。			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 25 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2.4	2.4	2.4
人件費合計(A)	17,280	17,280	17,280
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	186	485	400
委託料			
消耗品費等	186	485	400
その他			
合計(A+B)	17,466	17,765	17,680
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	17,466	17,765	17,680
上記①～③に関する特記事項			
臨時職員1名×0.5=0.5			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
校区再編実施計画策定数	ブロック	0	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
計画の策定割合	分子:計画策定ブロック数 分母:計画策定必要ブロック数	%	90 目標 100	100	100
校区再編計画の策定地区数	再編計画策定が終了した地区の数	地区	0	1	1

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

ほぼ計画どおり進行しているが、進行すればするほどさまざまな問題が生じ、必然の結果、投入人員の増加が必要となる。

評価	必要性	4	旧上野市内16小学校を8校に、6中学校を4中学校にする校区再編を行う。大山田、青山、島ヶ原は既に再編が済んでいる。まだである伊賀と阿山においても再編をおこなう。これにより人件費、施設維持管理経費等の大幅な削減が見込まれる。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		